

# 平成15年度 施策評価表

○総合計画における位置付け等

平成15年 6月 9日記入

基本目標	Ⅲ ▼ 躍動し 魅力あふれる交流拠点都市をめざして	施策コード	31510
政策名 (章)	第1章 立地特性を生かした産業の振興をめざします	評価担当課	経済部 ▼
基本施策名 (節名)	第5節 都市農業の振興		農政課
施策名	安定した農業経営の確立	課長名	西丸三千則

## 1 施策の概要・目的

本市農業は、都市化の進展に伴う生産環境の悪化及び就労機会の多様化により、後継者が不足し、農業従事者の高齢化が顕著となっている。しかし、生鮮食料を市民に安定的に供給するためには、地場農業の役割は大変大きいものがあり、経営体質の強化や農作業の効率化を促進するとともに、担い手となる人材の育成・確保や生産・流通システムの構築の支援を目的としている。

## 2 施策の現状

認定農業者や農業法人の育成を図るとともに、経営規模の拡大や農地の集約化を促進し、経営体質の強化、担い手となる人材の育成・確保に努めている。また、農繁期等の農作業をサポートする人材育成として、農協と協力し、援農システムの充実を図っている。さらに、地場農産物の消費拡大を目的に、相模原農産物ブランド化事業に取り組んでいる。

## 3 総事業費及び人員

### (1) 施策に要している総事業費

**59,138** 千円……構成事務事業全体の事業費合計(人件費含む)

### (2) 市民1人当りの事業費

**96** 円/人……人口は、**61.6** 万人とした。(平成15年4月1日現在人口)

### (3) 全施策中の順位(事業費)

この施策の市民一人当たり事業費は、全123施策のうち、第 **88** 番目です。

### (4) 施策に要している人員

**2.89** 人……構成事務事業全体の人員合計

## 4 評価指標

指標	指標名および指標式	指標の意図	現状値と目標値			目標
			現状	目標	達成度	目標年度
指標1	認定農業者の育成 現状数/目標数×100	地域農業マスタープランの達成度	107 人 単位	0 50 100	16	目標年度
			110 人 単位	97%		
指標2	農業法人の育成 現状数/目標数×100	地域農業マスタープランの達成度	21 社 単位	0 50 100	16	目標年度
			23 社 単位	91%		
指標3			単位	0 50 100		目標年度
			単位			達成度

## 5 必要性…市民ニーズに合っているか、行政需要の変化に対応しているか

平成11年度に施行された「食料・農業・農村基本法」に基づき、食料の安定供給の確保、農業の持続的な発展等を基本理念として、相模原市地域農業マスタープランに掲げた施策を展開し、市民の食の安全に対する期待に応えるとともに、農家の安定経営の確立を図っている。

6 有効性…期待される効果があがっているか

平成12年度に策定した「地域農業マスタープラン(目標年度平成16年)」に掲げた各目標数値について、着実に成果をあげている。

7 効率性…費用対効果が優れているか、もっと大きな効果が得られるものはないか

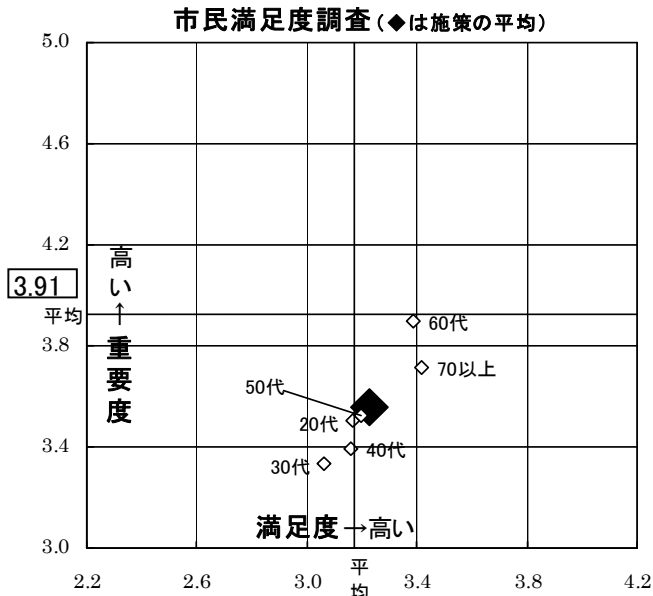
地域農業マスタープランに掲げた目標については、平成16年度に達成する見込みである。平成17年度以降についてはマスタープランの見直しを図り、さらに都市農業の振興に努めるものである。

8 市民満足度調査結果からの分析(平成15年度調査)

- ◆この施策の満足度は、3.226で、調査した51施策の中で17番目です。
- ◆この施策の重要度は、3.559で、調査した51施策の中で44番目です。
- ◆この施策の改善要望度は、0.236で、調査した51施策の中で45番目です。

◇年齢別にみると、満足度及び重要度ともに60歳代以上で高く、30歳代で最も低くなっています。満足度が高いほど重要度も高くなる傾向がみられます。

市民満足度調査は、基本施策51項目(節)について調査しています。したがって、上位の基本施策が同じ場合は同じ内容となっています。(「〇総合計画における位置付け等」参照)

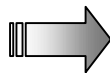


9 課題…施策を実現するにあたり、課題となっていること等

安定的な農業経営を図るため認定農業者の法人化を促進し、さらに農業生産法人等組織経営体の育成支援を図る必要がある。また、「家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律」に対応するため、堆肥舎等生産環境の保全を図る施策の検討が必要である。

10 今後の方向性(一次評価)

今後の方向	
<input checked="" type="checkbox"/>	拡充する
<input type="checkbox"/>	現状維持する
<input type="checkbox"/>	見直し



説明及び具体的内容

都市農業の振興を実現するため、認定農業者や農業法人、新規就農者の確保を図るとともに、流通業・物流業・外食産業等他産業とのネットワーク作りを通して、地場農産物の販路を確立し、ブランド化事業の推進により、安定した農業収入の確保を図る。

11 2次評価

説明	
<input type="checkbox"/>	A
<input checked="" type="checkbox"/>	B
<input type="checkbox"/>	C

12 外部意見

説明

都市化の進行や後継者不足問題など農業を取り巻く環境が厳しくなっている中で、本市の農業のあり方を再検討する必要がある。

